

少数台数のリコール届出の公表について (令和6年7月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和6年7月は17件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みのものについては、こちらへの記載はしていません。

1. Hyundai Mobility Japan 株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|--|-------|---|------|----------------------------|
| 7月5日 | 外3823 | 車名：ヒュンダイ 型式：ZAA-NE4LRG 通称名：IONIQ5 | 4台 | 令和5年2月7日 ～ 令和5年2月28日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| リヤインナーシャフトにおいて、熱処理設備の保守管理が不適切なため、冷却処理が不十分な状態で取り付けられている。そのため、強度不足により走行中にインナーシャフトが破断し、ABSやESCの警告灯が点灯する。そのまま、走行を続けると、走行不能となるおそれがある。 | | | | |

2. 極東開発工業株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|---|------|-------------------------------|
| 7月8日 | 5504 | 車名：トレクス 型式：FFB12402改 通称名：フルトレーラ 他 | 64台 | 平成24年10月29日 ～ 令和5年5月24日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| コンテナフルトレーラの両側面の中央部に備える方向指示器及び非常点滅表示灯において、設計検討が不十分だったため、自動車の前端からの距離が超過している。このため、保安基準第41条及び第41条の3の基準に適合しない。 | | | | |

3. アストンマーティンジャパン合同会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 輸入期間 |
|--|-------|---|------|-------------|
| 7月8日 | 外3831 | 車名：アストンマーティン 型式：7BA-AM801 通称名：DBX | 1台 | 令和 2年10月27日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| フロントプロペラシャフト及びフロントディファレンシャルにおいて、製造時の作業管理が不適切なため、固定するボルトが規定トルクで締め付けられていないものがある。そのため、当該ボルトが緩み、走行時に騒音や振動が発生して前輪の駆動が喪失する。最悪の場合、外れたプロペラシャフトによりクランクシャフトセンサーが損傷すると、エンジンが停止し再始動できなくなるおそれがある。 | | | | |

4. 日野自動車株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|--|------|---------------------------------|
| 7月10日 | 5513 | 車名：日野 型式：2DG-SS1EKHA 通称名：日野プロフィア 他 | 20台 | 平成25年 7月25日 ～ 令和 3年11月25日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 大型トラクタの連結装置において、誤連結を防止するロックガードの形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、メータ内に連結完了を示すカプラロックのランプが点灯することがある。そのため、走行中にトレーラが分離するおそれがある。 | | | | |

5. キド車輛工業株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|-------------------------------------|------|---------------------------------|
| 7月10日 | 5514 | 車名：いすゞ 型式：2DG-EW6ELH 通称名：ギガ 他 | 20台 | 令和 5年10月20日 ～ 令和 6年 4月22日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 大型トラクタの連結装置において、誤連結を防止するロックガードの形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、メータ内に連結完了を示すカプラロックのランプが点灯することがある。そのため、目視による連結状態の確認をしないまま使用を続けると、走行中にトレーラが分離するおそれがある。 | | | | |

6. 三菱ふそうトラック・バス株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|--|------|----------------------------------|
| 7月10日 | 5515 | 車名：三菱 型式：2KG-FV70HJR 通称名：ふそうスーパーグレート | 4台 | 令和 5年 8月 30日 ～ 令和 5年12月28日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 大型トラクタの連結装置において、誤連結防止部品（ロックガード）の形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態であっても多重表示モニターに正常連結状態を示すカップラロックインジケータ（緑色）が表示されることがある。そのため、走行中にトレーラが分離するおそれがある。 | | | | |

7. 横浜車輛工業株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|---|------|---------------------------------|
| 7月10日 | 5517 | 車名：三菱 型式：2KG-FV70HJR 通称名：ふそうスーパーグレート 他 | 19台 | 令和 5年11月14日 ～ 令和 6年 4月18日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 大型トラクタ用連結装置において、誤連結を防止するロックガードの形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、車両のメータ内に連結完了を示すカップラロックのランプが点灯することがある。そのため、目視による連結状態の確認をしないまま使用を続けると走行中にトラクタとトレーラが分離するおそれがある。 | | | | |

8. UDトラックス株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 輸入期間 |
|--|-------|--------------------------------------|------|---------------------------------|
| 7月10日 | 外3838 | 車名：ボルボ 型式：2DG-5S4TBA1 通称名：FH 他 | 79台 | 令和 4年 8月 8日 ～ 令和 5年11月21日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 大型トラクタの2軸式カップラにおいて、製造工程の作業性改善で設計変更したロックガード（誤連結防止部品）の形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さが合っていない状態で連結操作を行うと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、運転席センタパネル内に連結完了を示す連結確認ランプが点灯することがある。そのため、目視による連結状態の確認をしないまま使用を続けると、走行中にトラクタとトレーラが分離するおそれがある。 | | | | |

9. スズキ株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|---|------|---------------------------------|
| 7月11日 | 5520 | 車名：スズキ 型式：5BA-HE33S 通称名：アルト ラパン 他 | 11台 | 令和 6年 6月17日 ～ 令和 6年 6月19日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| フロントホイールハブとドライブシャフトを締結するナットの締め付けが不適切なため、ナットの締め付けトルクが不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該ナットが緩んで異音が発生し、最悪の場合、フロントホイールハブとドライブシャフトの間に著しいガタが発生するおそれがある。 | | | | |

10. Stellantis ジャパン株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 輸入期間 |
|--|-------|---|------|-------------|
| 7月12日 | 外3839 | 車名：ジープ 型式：3LA-JL20L 通称名：ラングラー アンリミテッド | 1台 | 令和 5年 3月25日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| PHEV 仕様車の駆動バッテリーの一部において、バッテリーセルの内部不良があり、車両火災に至るおそれがある。 | | | | |

11. 株式会社 NICHIGO

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|--------------------------------------|------|---------------------------------|
| 7月16日 | 5507 | 車名：ニッセキ 型式：YDS-R01E 通称名：HTR608 | 15台 | 平成27年 9月10日 ～ 令和 5年 8月18日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| ロータリ除雪車の車枠において、車枠強度が不足しているため、車枠に亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、車枠が折損するおそれがある。 | | | | |

12. 日本フルハーフ株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|--|------|---------------------------------------|------|----------------------------------|
| 7月22日 | 5508 | 車名：いすゞ 型式：2RG-NPR88AN 通称名：エルフ 他 | 77台 | 令和 3年 5月 6日 ～ 令和 6年 4月 18日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 3分割式の突入防止装置において、設計時の確認が不十分なため、全幅2,000mm以上の自動車に装着した場合、当該装置の両側後面の有効表面積が420cm ² に満たない。そのため、保安基準第18条の2に適合していない。 | | | | |

13. 三菱ロジスネクスト株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|--|------|---|------|-----------------------------------|
| 7月25日 | 5506 | 車名：ユニキャリア 型式：YDS-M18 通称名：MR4531-3 | 2台 | 平成30年 3月 22日 ～ 令和 元年 9月 12日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| フォーク・ローダの運転者室（キャビン）の位置を保持する油圧モータにおいて、油圧回路へエアや不純物等の混入により空転する場合がある。そのため、制動時にキャビンがレール上を滑走し、スライドストップパに衝突することがある。最悪の場合、スライドストップパが破断してキャビンが車体から落下する。 | | | | |

14. UDトラックス株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|--|------|---|------|-----------------------------------|
| 7月25日 | 5523 | 車名：UDトラックス 型式：2PG-CW5DL 通称名：クオン 他 | 50台 | 令和 5年 9月 11日 ～ 令和 5年 10月 2日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 後輪二軸リーフサスペンション仕様車において、リアクションロッド固定ボルトの締め付け工具管理が不十分のため、当該ロッド4本を固定するボルトが規定トルクで締め付けされていないものがある。そのため、走行中の振動や衝撃によってボルトが緩み、締結部にガタが発生することにより、ボルトが折損・脱落、最悪の場合、アクスルがリアクションロッドと分離し、走行不能となるおそれがある。 | | | | |

15. フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 輸入期間 |
|---|-------|---|------|------------------------------------|
| 7月25日 | 外3837 | 車名：ランボルギーニ 型式：7BA-ZFDGFB 通称名：ウラカン | 74台 | 令和 4年 10月 14日 ～ 令和 5年 5月 26日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 運転席シートベルトにおいて、10km/h を超え、20km/h 以下で走行時に運転席シートベルトを解除した場合、シートベルトリマインダーの警告音と警告灯が作動しない。そのため、保安基準に適合しない。 | | | | |

16. 株式会社マツダE&T

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|--|------|-------------------------------------|------|-----------------------------------|
| 7月30日 | 5524 | 車名：マツダ 型式：3DA-KG2P 通称名：CX-8 他 | 3台 | 令和 6年 1月 31日 ～ 令和 6年 2月 26日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 道路作業車に備えた散光式警光灯において、電源スイッチの製造工程が不適切なため、スイッチ接点にグリスを塗布していないものがある。そのため、スイッチ操作を繰り返すと、最悪の場合、導通不良により散光式警光灯が点灯中に消灯するおそれがある。 | | | | |

【参考】

●令和6年7月のリコール届出件数

| | 全体 (件) | 内 訳 (件) | |
|-----|--------|--------------|--------------|
| | | 対象台数 100 台以上 | 対象台数 100 台未満 |
| 国産車 | 24(+7) | 13(-2) | 11(+9) |
| 輸入車 | 14(+1) | 8(-1) | 6(+2) |
| 計 | 38(+8) | 21(-3) | 17(+11) |

※ () 内は、対前年度同月比

●令和6年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

| 月 | 届出件数 (件) | | | 対 象 台 数 (台) | | |
|----|----------|--------|---------|-----------------------|-------------------|-----------------------|
| | 国産車 | 輸入車 | 合 計 | 国産車 | 輸入車 | 合 計 |
| 4 | 6(-11) | 9(-2) | 15(-13) | 138,920(-270,681) | 8,984(-42,176) | 147,904(-312,857) |
| 5 | 12(+2) | 16(+9) | 28(+11) | 360,641(+75,824) | 161,635(+143,833) | 522,276(+219,657) |
| 6 | 18(-1) | 17(-1) | 35(-2) | 380,288(-711,202) | 39,246(-2,130) | 419,534(-713,332) |
| 7 | 24(+7) | 14(+1) | 38(+8) | 313,280(-850,098) | 93,570(-105,350) | 406,850(-955,448) |
| 小計 | 60(-3) | 56(+7) | 116(+4) | 1,193,129(-1,756,157) | 303,435(-5,823) | 1,496,564(-1,761,980) |

※ () 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

| |
|--|
| 国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 千葉・柏原 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361) |
|--|